

長崎市提案型協働事業提案企画書

団 体 名	長崎史談会
提案事業の名称	まちなか再発見プロジェクト
提案事業の目的	長崎は、江戸時代に関することはよく知られ、研究もされ、現在でもさるく観光をはじめ、まちづくりなどに大いに活用されている。しかし、明治以降のことについては、たとえば大正11年に芥川龍之介が麴屋町の池島家を訪れているなど、興味深い事実がいろいろとあるにも関わらず、十分に認識されていないというのが現状である。この明治以降の歴史的事実を掘り起こし、新たな光を当て、長崎のまち、特に都心部の活性化、さらには進化させ、都市観光の推進を図ることを目的とする。
課 題 の 緊急性・重要性	長崎のまちは、ドーナツ化現象で、どこも空洞化が進んでいる反面、最近のマンションラッシュで、新たに他所から多くの人々が移転、まちの様相が大きく変貌しつつある。また、どこのまちも高齢化によって町内のもの知りと呼ばれる老人たちが少なくなり、仕来りや記憶の伝承なども危ぶまれている。そこで、これら貴重な情報の亡失や散逸を防ぐとともに、埋もれている歴史的事実を早急に掘り起こし、情報として記録、活用する必要があると思われるため。
協働の必要性	都心部全体を対象にして調査する必要があるが、新大工町から中通り、浜んまち、館内・新地、大浦などを調査対象に考えている。これらの地域は、龍馬の通った道ということで一時は脚光を浴びたが、まだまだ十分に活用されているとはいえ、これらの地域の活性化は急務と思われる。現在、長崎市では「まちぶらプロジェクト」の事業が進められているほか、長崎国際観光コンベンション協会及び観光政策課では新たなさるく観光のコースづくりに取り組んでおられる。そこで、新大工ゾーン、中島川・寺町・丸山ゾーン、浜んまち・銅座ゾーン、館内・新地ゾーン、東山手・南山手ゾーンの5ゾーンに調査対象を絞り、流石！長崎といわれるような、画期的な新コースを作るため、観光政策課との協働が必要と考えている。
協働による 相乗効果	これまでも本会単独で同様な調査等を行った経緯があるが、長崎市と協働することによって、市民のより一層の協力が期待できるほか、市民にさるく観光やまちづくりについてより理解を深めてもらえる。また、長崎市にとってこの事業で得られた情報は、大変貴重で、将来にわたってさるく観光やまちづくり、さらには未指定文化財の調査など、いろいろな面に活用できると思われる。これは、本会にとっても同様で、本会の活動等に理解を深めてもらえるほか、貴重な情報を蓄積でき、将来にわたって活用できると思っている。

<p>協働の役割分担</p>	<p>1 提案団体が果たそうとする役割 調査対象を新大工ゾーンなど5ゾーンとし、文献や新聞記事等で歴史的事実の掘り起こし、さらには確認を行うとともに、当該ゾーンの住民による聞き取り調査を実施する。特に新大工町及び中通りを重点地区として推進していく。</p> <p>2 本市に期待する役割 行政資料等の閲覧や提供、さらには自治会等を通じて当該ゾーンの住民の聞き取り調査を行うので、その聞き取り調査の際の行政の面からの指導や連絡調整などに当たっていただく。</p>
<p>提案事業の内容</p>	<p>1 文献資料調査事業 目標 行政資料や新聞記事等の文献資料を調査することによって新しい事実を掘り起こし、確認する。 成果 冊子を作成。知り得た情報を掲載、紹介する。 内容 行政資料や新聞記事等の文献資料を調査する。 実施日程 週1回程度 従事予定人数 1回当たり6人 実施場所 長崎県立長崎図書館その他 予算額 810,000円</p> <p>2 聞き取り調査事業 目標 それぞれのゾーンの住民約30名に聞き取り調査を行うことにより、新しい事実の掘り起こしや確認を行うとともに、文献調査等で知り得た情報との校合を行う。 成果 冊子作成の資料とする。 内容 それぞれのゾーンの住民等に聞き取り調査を行う。 実施日程 月2回程度 従事予定人数 1回当たり6人 実施場所 アマランスの会議室など 予算額 190,000円 ※以上の事業により完成した冊子については、まちぶらプロジェクト及び都市観光のツールとして、積極的な活用が見込まれている。</p>
<p>提案事業の実施体制</p>	<p>1 総括責任者 原田博二</p> <p>2 個別事業責任者 文献資料調査事業責任者 井手勝摩（専従者6人） 聞き取り調査事業責任者 福田哲也（専従者6人）</p> <p>3 事業実施にあたっての専門性やノウハウ 本会は、会誌『長崎談叢』（これまでに98輯を刊行）の編集・刊行のほか、これまでに『長崎学ハンドブック』（長崎市立博物館他刊、これまでに5シリーズを刊行）などでも文献資料の調査や聞き取り調査、冊子等の編集等に協力を行っているので、本事業等の推進には全く支障はないと考える。</p>

事業 スケジュール	事業スケジュール				
		第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月
	文献資料調査 事業	準備・調査実 施	調査実施	調査実施原稿 作成	冊子作成（編 集・印刷・校 正等）
聞き取り調査 事業	準備・調整	第1～5回開 催	第6～10回開 催		
事業の展望及び 今後の活動展開	<p>事業によって得られた情報について、短期ではさらに調査を継続することによって情報をより精度の高いものとして行く。中・長期では、対象ゾーンを今回対象外とした大黒町から玉園町方面、元船町から五島町方面、万才町から桜町方面、勝山町から馬町方面などのゾーンにまで拡大、このまちなか再発見プロジェクトの構想をより完全なものとし、長崎さるくを中心とした都市観光やまちづくり、さらには未指定文化財の調査などに貢献できればと思っている。</p>				